

Happy-Pad プロモーションセンター、ラジオトークショー、学校設備修繕の準備

<活動状況>

1. ワキソ県での Happy-Pad プロモーションセンターの設立
2. 女子教育と再利用可能な生理用布ナプキン「Happy Pad」の活用をテーマとしたラジオトークショー実施
3. 学校施設の現状における課題リストの作成（修繕箇所の検討）
4. 各県 10 校ずつ、全対象校（30 校）の学校施設の状況把握作業

1. ワキソ県での Happy-Pad プロモーションセンターの設立

Happy-Pad プロモーションセンターとしてふさわしい場所として、ワキソ県マトウガにある Katalemwa 中等学校に設立することにした。事務局長が賃貸借契約を締結し、初月の賃料を支払った。施設は現在利用に向けて改装を行っている。

2. 女子教育と再利用可能な布ナプキン「Happy Pad」の活用をテーマとしたラジオトークショーの出演

トークショーのトピックは、SORAK が作成し 3 県で共有した原稿をもとにラジオトークショーを実施した。原稿にはスタッフそれぞれがショーの中で発言すべき内容を示したものである。ラジオのスポットメッセージ（コマーシャル）については事前に台本を用意し、放送前に収録しておいた。

■ ムベンデ県

1月25日 19:00～20:00 の 1 時間、ムベンデの Heart FM でラジオのトークショーを実施した。ショーには事務局長、プロジェクトマネージャー、プロジェクトオフィサー、ボランティア員が出席し、それぞれ用意した原稿に基づき重要事項についてトークした。

■ ワキソ県

ラジオトークショーは 2 月に実施予定。

■ ブタンバラ県

コミュニティ内のラジオ番組を通してトークショーを実施した。1月29日に「Voice of Kikambwe」で、1月30日には「Voice of Butende」にて放送した。トークショーには事務局長、プロジェクトオフィサー、活動対象地域の一つであるブテンベ準群の女性議員がゲスト出演した。

3. 学校施設の現状における修繕リストの作成

本事業は各県の全対象校 30 校において衛生管理に関わる学校設備の改善を担っている。それぞれの学校にて、学校長と共に具体的にどこを修繕すべきか明らかにする必要があると考え、SORAK のプロジェクトマネージャーが学校施設におけるチェックリストを用意し、各地域のプロジェクトオフィサーはそのリストに基づき各学校の修繕点をリストアップした。

4. 各県 10 校ずつ、対象 30 校の学校施設の状況把握作業

プロジェクトオフィサーは各県の対象校 30 校すべてを訪問し、現状の修繕点をまとめた。ムベンデ県とワキソ県の学校訪問は 1 月 26 日～28 日の 3 日間で、ブタンバラ県では 1 月 25 日～27 日の 3 日間で実施した。

<事業による効果的な影響およびもたらした変化>

ラジオ番組では以下の結果が得られた。

- プロジェクト対象者のみならず広い聴衆に対して本事業を紹介する機会となった。これは対象外の様々なリスナーが電話参加したことによって明らかとなった。
- リスナーは本事業が月経時の衛生管理を対象としていることに感謝し、女子の教育環境の改善に期待を示した。
- 他の地域にある学校への事業拡大を希望する者や、再利用可能な布ナプキンの作成方法を学べるよう依頼する者もいた。
- NGO と政府の関係が強化された。ブタンバラ県で準群の女性議員がボランティアでラジオ出演を申し出たことから事業が政府に快く受け入れられ支持を得ていることがわかる。本事業は県内や対象地域内で広く受け入れられると予想される。

修繕点の調査では以下の結果が得られた。

- 学校経営者にとって、事業計画を理解し受け入れの準備を始める機会となった。また全ての対象校において事業に対する期待が高まった。
- 実際の現場で改善が必要な施設（洗面所、更衣室、水タンク）を特定することができた。

<直面した問題>

- 一年で最も暑く、乾燥し、ほこりっぽい 1 月に学校から学校へ長距離移動すること。
- JICA が関連していることからもどこの学校も本事業へ過度な期待を寄せられた。まずは全関係者が本事業に懸命に取り組む必要があり、そうすることで今後さらなる支援を得ることが可能になると説明した。
- ワキソ県ナブウェルにある Kanyange 小学校の校長は校内の写真撮影に関して懐疑的で、プロジェクトオフィサーがジャーナリストではないかと疑い、確認するよう副校長に指示を出した。プロジェクトオフィサーは信頼を得るために自治体からの紹介状を発行し、その後撮影許可を得ることができた。
- プロジェクトチームが学校施設の修繕ポイントを確認している間に子どもたちがトイレなどを使用する必要があり、作業が難航した。子どもたちが教室から出ている朝食や昼食などの時間帯を避け、授業中まで待機したり、別の学校訪問を試みたりした。

<教訓>

- 学校において月経時の衛生管理に取り組んでいくためには更衣室の存在が非常に重要であるにもかかわらず、どの対象校にも設置されておらず、全校で導入する必要があることが明らかとなった。
- 基本的に衛生状態が非常に悪く、トイレや洗面所に水タンクなどの適切に機能する給水装置が設置されている学校はなかった。
- ほとんどの学校において水や衛生施設は男女共用であり、プライバシーが確保できない状況にある。
- ラジオトークショーは、夜に放送されるとより大きな反響を得ることができる。

- コミュニティ内でプロジェクトが認知されることは本事業の成功につながる。
- 村だけでなく県レベルの指導者との関係が築けたことは良い結果であり、事業が受け入れられ継続していくためにはこれを維持すべきである。
- **<関係者のコメント>**



ワキソ県 Lwadda Church of Uganda 小学校校長
「十分な資金はないかもしれませんが、トイレ上部の鉄板交換は女子生徒にとって早急に必要な措置だと考えています。」

<活動写真>



Happy-Pad プロモーションセンターの施設の内装
Katalemwa 中等学校の生徒（ワキソ県）



Happy-Pad プロモーションセンターの施設の外装
ドア、窓、屋根を取り付け、施設を改善することに学校側も同意した。（ワキソ県）



学校で月経時の衛生管理にきちんと取り組んでいくために必要なことや、月経時の衛生管理の詳しい内容についてプロジェクトマネージャーがコミュニティに対し啓発している。（ムベンデ県）



プロジェクトのボランティア員が月経時の衛生管理及び性的暴力に対する適切な教育がもたらす利点について認識を促している（ムベンデ県）



M&E オフィサーは粗末な月経時の衛生管理が招く悪影響について、性的虐待の危機に最もさらされている子どもというカテゴリーにおいてラジオを通して啓発している。（ムベンデ県）



ディレクターが学校に女の子たちを通わせることへの重要性と性暴力が起こった時に保護者は何をすべきかの認識を促す話をしている。（ムベンデ県）



ラジオ番組「Voice of Butende」にて、母親、父親、教員、そしてコミュニティ全体が手を取り合って取り組むことへの重要性を訴えかけている。（ブタンバラ県）



ラジオ番組「Voice of Butende」にてチームリーダーと司会者は女子が学校へ通うことの重要性と、適切な月経時の衛生管理にどのように関わるべきかについてコミュニティに訴えかけている。（ブタンバラ県）



ラジオ番組「Voice of Kikambwe」にてチームリーダーと司会者が学校で月経時の衛生管理に取り組むことへの重要性について啓発している。（ブタンバラ県）



ラジオ番組「Voice of Kikambwe」にてプロジェクトオフィサーが月経時の衛生管理とその問題を阻んでいる文化的障壁についてどのように取り組むべきか認識を促している。（ブタンバラ県）



ラジオ番組「Voice of Butende」にてプロジェクトオフィサーとフィールドオフィサーがリスナーから来た月経時の衛生管理に関連した質問に対して返答している。(ブタンバラ県)

<学校施設>

ムベンデ県		
 <p>床の塗装、ドアの取り付けが必要な女子トイレ (Ikula 小学校)</p>	 <p>崩れている壁を補強しドアと屋根を取り付ける必要がある洗面所 (Kasaana 小学校)</p>	 <p>ドアノブや水タンクとつなが樋がなく修繕が必要な洗面所を校長が案内している (Dyangoma 小学校)</p>
 <p>床の塗装が必要な女子トイレ (CAWODISA 小学校)</p>	 <p>床の塗装、ドアの取り付けが必要なトイレ (Kategga 小学校)</p>	 <p>保護者によって最近修繕された学校唯一のトイレ。もう一棟トイレを建設するための支援が必要である。(Christ the King 小学校)</p>
 <p>屋根とドアを取り付け、床の塗装が必要な女子用洗面所 (Kabowa 小学校)</p>	 <p>修繕の必要があるトイレ施設。男女別に分けるか新しいトイレを建設する必要もある (Gwanika 小学校)</p>	 <p>新しいドアと床や壁の補強が必要 (Kasasa 小学校)</p>

ワキソ県



鉄板の交換や床や壁の補強が必要なトイレ (Lwadda 小学校)



ドアの設置と補修が必要な洗面所 (Maganjo UMEA 小学校)



ドアと床の補修が必要な女子トイレ (Kitanda Church of Uganda 小学校)



ドアと屋根の取り付けが必要 (Ssanga C/U 小学校)



ドアの取り付けが必要 (Buwambo 小学校)



ドアの取り付けが必要な洗面所 (Kirolo UMEA 小学校)



水をタンクまで運ぶための桶、及び水道を2か所取り付ける必要がある。



ドアの取り付けと床の修理が必要な洗面所 (Kitungwa 小学校)

ブタンバラ県



崩壊した女子トイレ。ドア付きバスルームの再建設が必要である。(Butende 小学校)



凹んだ壁の修復、床の塗装、ドア2枚の取り付けが必要なトイレ (Butende 小学校)



ドアがシロアリに食べられていたため新しいドアの設置と床の塗装の必要がある。(Kiwala 小学校)



床の塗装を含む修繕が必要な洗面所 (kiwala 小学校)



床の塗装を含む修繕が必要な洗面所 (Butalunga 小学校)



床の塗装とドアの取り付けが必要 (Butalunga 小学校)



屋根、ドア、床の塗装が必要な女子トイレ。屋根が外れてから、男女が同じトイレを使用している。(Kitagobwa 小学校)



セメントを塗る必要がある洗面所 (Kitagobwa 小学校)



ドアの設置と床の塗装が必要な洗面所 (Bule 小学校)



新しいドアの設置と床の塗装、壁の補修が必要。(Bule 小学校)



チームリーダーがトイレの視察している。施設はドアと鍵の取り付け、床の塗装が必要 (Nkokoma 小学校)



プライバシーがなく、本格的な修復が必要なトイレ。洗面所がないため建設が必要である。(Nkokoma 小学校)



ドアの取り付け、床の塗装、排水溝が必要な洗面所 (Ntolomwe 小学校)



プログラムマネージャーが更衣室として使用できる部屋を視察している。この部屋は修繕とドアの取り付けが必要 (Ntolomwe 小学校)



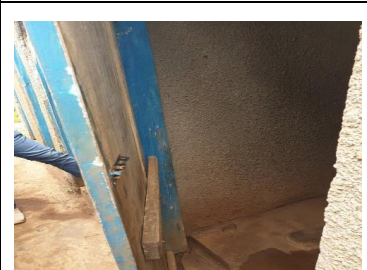
床の塗装、鍵付きのドアが必要な洗面所。700人の女子生徒が使うには小さすぎ、更衣室として使うためにも増設の必要がある。(Kayenje 小学校)



粗末な排水状態であり、多数の生徒が共用することで感染症のリスクが生じる。溝を備え付け、床を塗装する必要がある (Kayenje 小学校)



ドアの取り付けと床の塗装が必要な亀裂の入った洗面所 (Nawango 小学校)



鍵がなく新たに取り付けが必要なトイレのドア (nawango 小学校)